

2012 ALL JAPAN GRAND CHAMPIONSHIP TOURNAMENT

13th MASTERS

- 日時** 平成24年 9月 15日(土)・16日(日)
大会初日 集合時間 午前9時30分 開始時間 午前10時00分
- 会場** 高井田ビリヤード TEL 06-6685-8860 (代表)
東大阪市川俣1-1-41 丸福高井田ビル(高井田ビル)2F
- 競技種目** 10ボール コールショット/プッシュアウト有/ダブルヒット無
ラックシート&セルフラック採用 ※)別紙ローカルルールを参照して下さい。
予選 ダブルイリミネーション(6ラック先取)
決勝 シングルイリミネーション(Best16より、7ラック先取)
- 参加資格** 各都道府県の地区大会より選抜された1~2名。
※)本大会の定員を64名とします。各都道府県の2人目の選手は、地区大会の参加人数が多い都道府県から順に受付させて頂きますので、担当の方は必ず地区大会の結果を申込の際、一緒に送付して下さい。
- シード選手** 第12回 優勝者 持永 隼史(東京都)、JAPA主催大会優勝者(21期球聖位、4期女流球聖位、52期名人位、59回全日本アマA・女子級優勝者)
※)JAPA主催大会優勝者在住の担当者の方は、出場の有無を確認し申込して下さい。
- 服装** 男子選手:ワイシャツにスラックス、初対着用、靴履き。ポロシャツ・綿パン等は禁止します。
女子選手:ニット系、Tシャツ、デニム等軽装禁止、ブラウス等正装、正装と判断出来る服装。
※)違反者は失格の裁定を下す場合がありますので十分ご注意下さい。
- 賞典** 優勝者には、BCJ様より優勝記念ブレザー進呈、Best 8迄賞典あり。
- 参加費** 1名 15,000円(当日会場にて受付時に徴収致します。)
- 申込締切** 2012年 9月 2日(日)
- 申込先** 大会本部 Fax:06-4256-7779 e-mail:japa-office@wing.ocn.ne.jp
Tel:06-4256-7778 ※)申込は出来るだけメールにてお願いいたします。
- 注意事項** 各都道府県の2人目の選手の参加の可否は申込締切後、各地区担当者に連絡致します。
宿泊は、各選手で手配をお願い致します。
出場選手は、勝敗に関わらず必ず大会二日目に出席して下さい。

主催 日本アマチュアポケットビリヤード連盟 JAPA
主管 日本アマチュアポケットビリヤード連盟 関西支部
協賛 日本ビリヤード商工連合会 BCJ、株式会社アダムジャパン
OTA・ENTERPRISE.inc、高井田ビリヤード



記

近年の国内競技界全体の技術向上にともなうルール改訂について両団体で協議をいたしました結果、国際ルールとの兼ね合いを踏まえて以下の変更を行うこととなりました。

ここに告知し今日より JPBA 様または JAPA が主催または主管する大会において採用することを連絡いたします。なお、今回のルール改訂は NBA ルールを変更するものではなく、NBA ルールを柱とした上でローカルルールとして補足設定するものであることをご承知ください。

以上

2011年5月13日

日本プロポケットビリヤード連盟 (JPBA)
日本アマチュアポケットビリヤード連盟 (JAPA)

10 ボール

コールショット

テンボール種目においては、ブレイクショットおよびプッシュアウトを除くすべてのショットにコールショットを採用する。

認められるコールは以下の2通り。

- (a) ポケットインする1個のボールと1つのポケットを指定
- (b) ポケットインする意思がない場合は「セーフティ」

ただし、ポケットインの狙いが明白である場合はコールがなくとも有効とし、また、コールの方法は発声に限ることなく、キュー先でポケットを指すジェスチャー等も認められものとする。この時、レフリー（相手レフリーの場合は相手選手）が意図を把握できるよう努める義務をプレイヤーは負う。また裁定は従来通りレフリーが行うものとする。

なお、コールショットで有効なポケットインの際には複数のポケットインを有効とするが、10番に限っては10番ボールをコールしていない場合はこれを認めずフットスポットに戻してプレーを続行する。

オプション

上記コールショットの採用にともない、テンボール種目ではオプションのルールを新たに追加する。

オプションの詳細は以下の通り。

コールしたボールが有効なポケットインしなかった場面において、別のポケットにイン、または別のボールがイン、もしくはセーフティコール時に手球以外のボールがポケットインしたという状況でオプションルールは適用される。

この時、相手プレイヤーは、プッシュアウト後と同様に

- (a) 現状の状態プレーを行う
- (b) パスをして相手選手に現状の状態からプレーをさせる

の2通りの中から任意の選択を行う権利を持ち、いずれかを選択せねばならない。

全種目共通

ダブルヒット

「第5章第5条第1項」で定めるダブルヒットに関するルールを採用を取りやめる。これにより2度撞きは全てファウルの扱いとする。ただし、手球と最初にヒットさせるべき的球がフローズン（密着）の場合は2度撞きをファウルとしない。

補足

このルール改正はJPBAとJAPAが定めたものであり、すべての国内試合において採用を義務付けるものではありません。また、B級以下のクラスにおいては一部採用しない可能性のルールも含まれています。大会ごとの開催要項または主催者または競技委員に確認下さいますようお願いいたします